



2014年トレンド予測

進学領域

進学情報サイト・情報誌

情報誌

PCサイト

モバイルサイト

リクナビ 進学ブック



リクナビ進学 <http://shingakunet.com>



受験サプリ <http://jyukensapuri.jp/>



大学経営層対象

高校教員対象

カレッジマネジメント

キャリアガイダンス



進学総研サイト

<http://souken.shingakunet.com/>



高校生の進路選択を
サポートするサービス

ステークホルダーへの
情報発信

キーワード

いつでも、どこでも、何度でも。
スマホで、スマートに勉強！

スマ勉

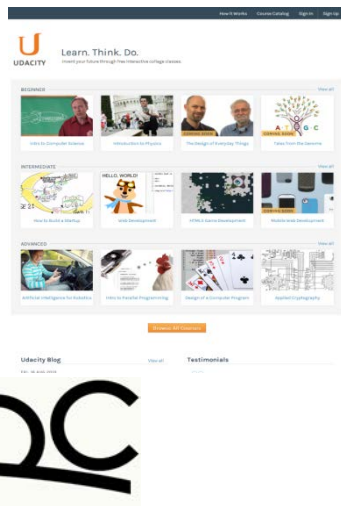


- ・ **スマートフォンを使って、勉強をする高校生が増加**している。
- ・ **海外では**、大学教育のオープン化や単位認定、高校生の受験勉強への**活用が進んでいる**。
日本では、これまで社会人の活用が進んできたが、今後は高校生にも波及。
- ・ 高校生が受験勉強で活用するようになった背景としては、
①デバイスの普及 ②デバイスへの親和性 に加え、
③受験勉強に対する4つの「不」（①距離、②時間、③価格、④品質）
- ・ スマ勉のメリットとしては、いつでもどこでも（即時性）、
何度でも（反復性）低料金で高品質な授業を、利用できること。
ここ1～2年でサービスも増加し、高校単位で授業として導入する例も出てきている。

大学の講義のオープン化が受験勉強に拡大。
海外の先行事例が日本にも波及している。

大学講義のオープン化（MOOC）の登場

- 世界の大学550以上の講義を、無料で受講できる大規模公開オンライン講座。すでに700万人以上が受講。
- 2013年2月に東京大学がcourseraに、同年5月に京都大学がedXに参加表明。
- 日本版MOOC（JMOOC）の発足

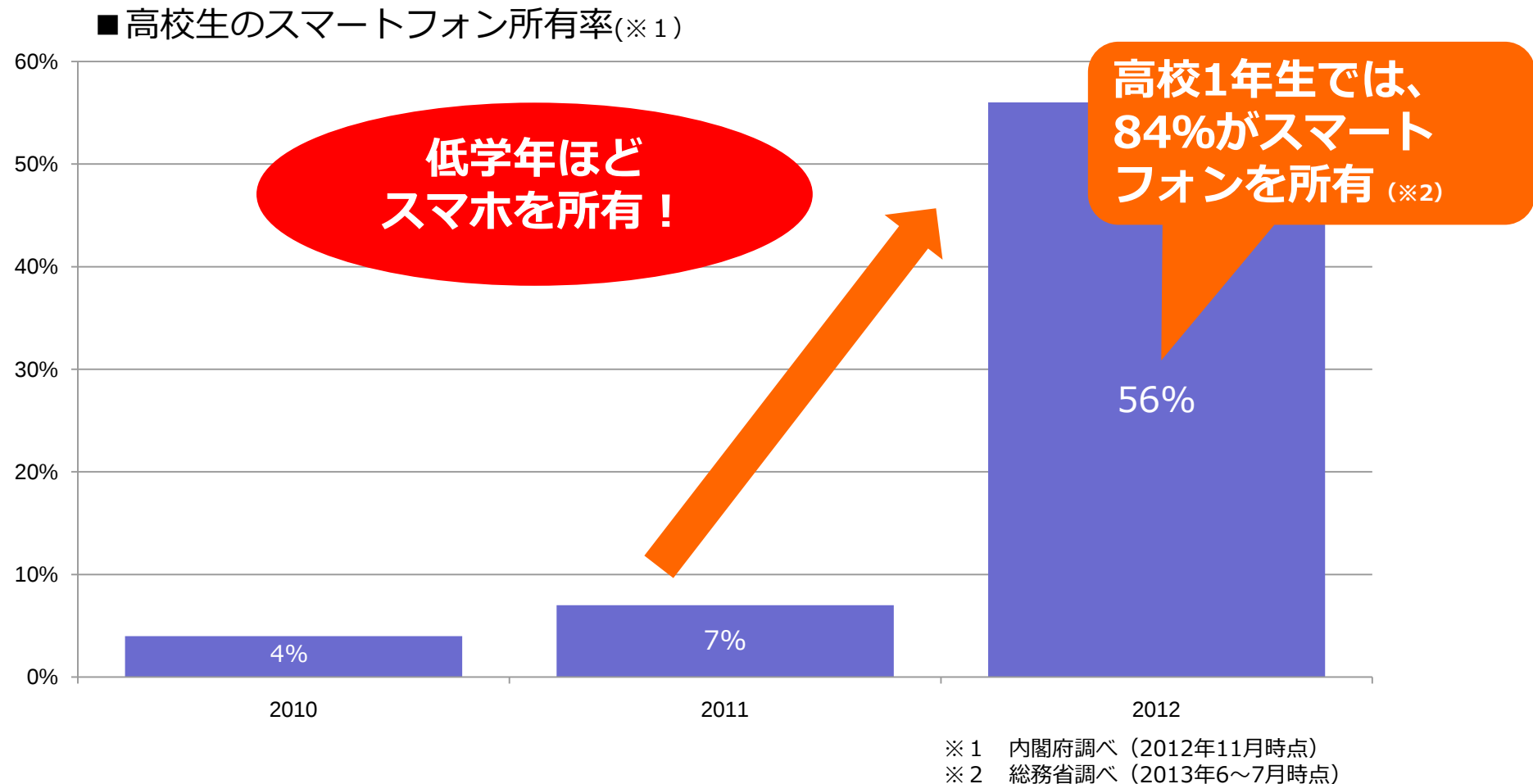


韓国ではオンライン予備校 Megastudy が業界No.1に

- 成功の要因は、タブレット端末が普及したことに加え、有名講師人の授業が低価格で受けられること

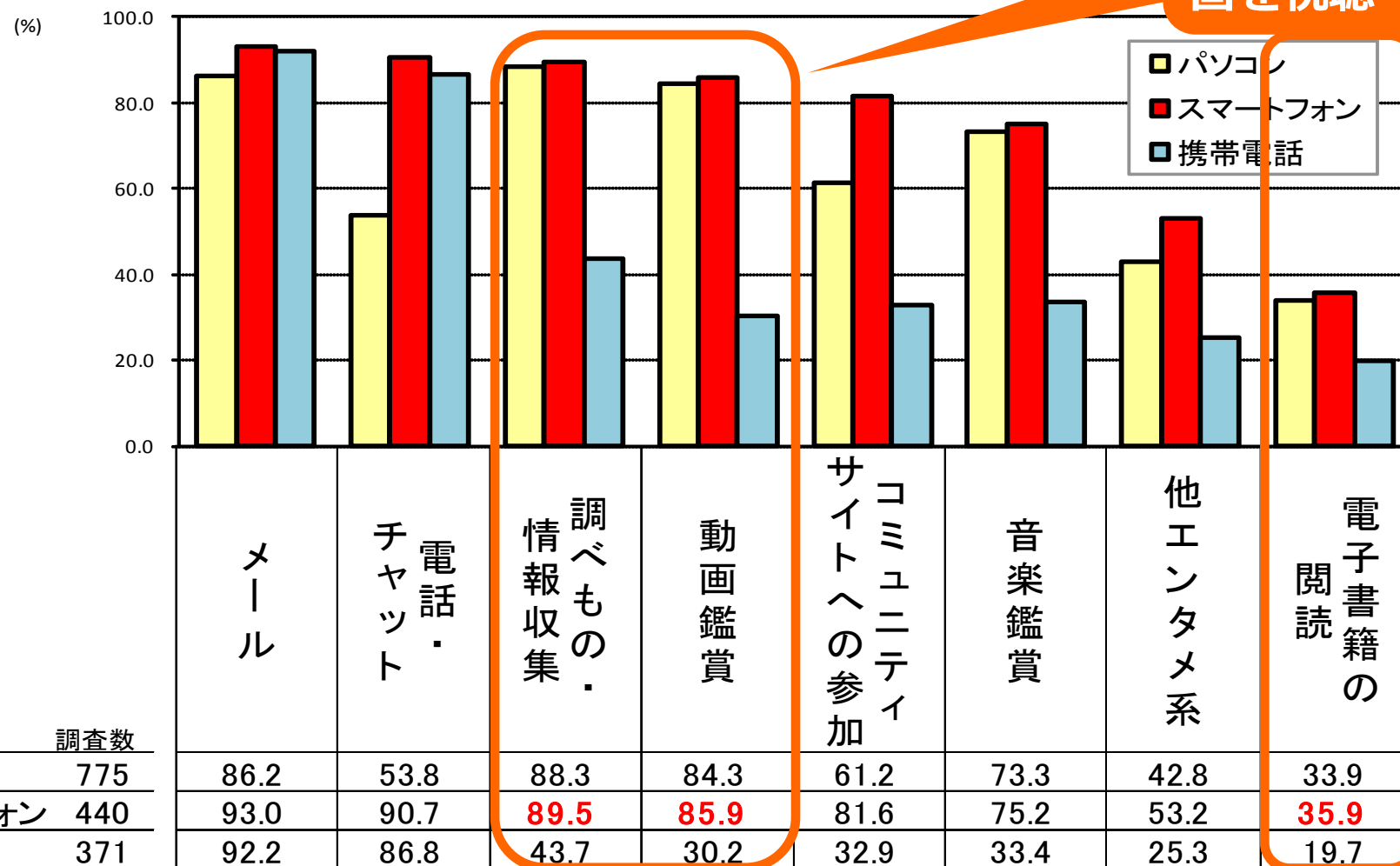


高校生のスマートフォン所有率は6割弱。
経年で大幅に増加している。



高校生にとってのスマートフォンは 「手の中のパソコン」であり、使いこなす世代

■パソコン、スマートフォン、携帯電話の利用目的



86%の高校生がスマートフォンで動画を視聴

調査数

パソコン	775
スマートフォン	440
携帯電話	371

受験勉強には、4つの「不」が存在する。

受験勉強の4つの「不」

①
距離

近くに
塾・予備校
がない

②
時間

時間がない
忙しい
(部活など)

③
価格

お金が
かかる

④
品質

いい講師が
いない、
教材がない



「スマ勉」のメリットは、
低価格で高品質な授業を、効率的に利用できること。

即時性

いつでも
どこでも

低価格

低価格で

反復性

何度でも
繰り返し

高品質

良質の
講師や教材



オンライン予備校「受験サプリ」でも、
約7割がスマートフォンからの利用。

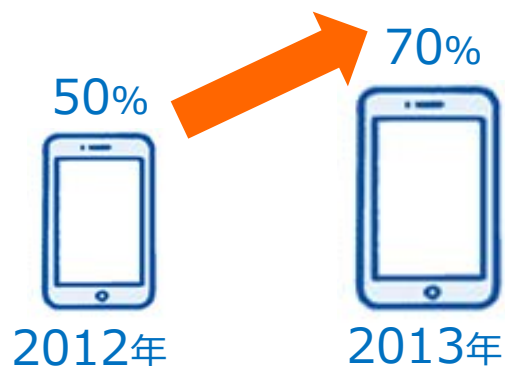
- ・ 受験生20万人が利用している
オンライン予備校「受験サプリ」(リクルート) の例



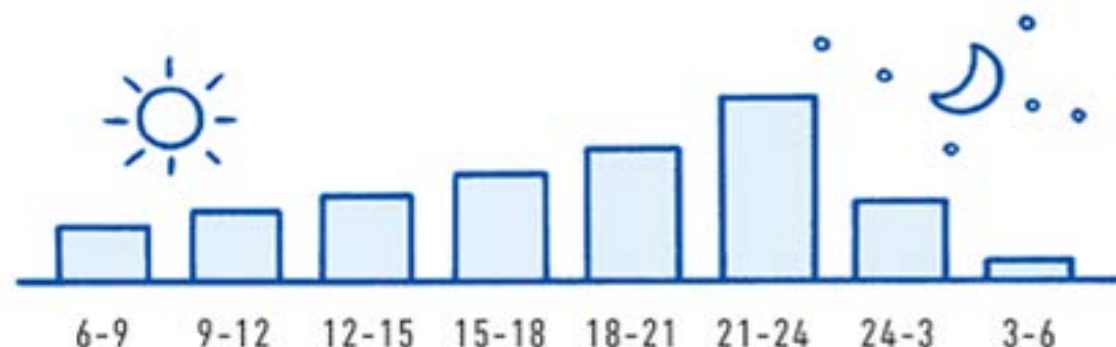
スマートフォンからの
利用が約7割 (去年は5割)

家だけでなく通学時間や昼休み、
放課後にも利用されている

利用環境



利用時間



この1～2年でスマートフォン向けサービスが急増。
無料あるいは低価格で提供されるものが多い。

オンライン授業（講師）



manavee
大学受験まなぞう
受験サプリ、
大学受験倶楽部
エブリディゼミナール…

勉強アプリ（教材）

英単語、
古文単語、漢字
数学公式集、
物理公式集、
日本史・世界史一問一答
…



勉強SNS（つながり）

Quipper
STUDYPLUS
ednity…



事例①

スマホのアプリで「すきま時間」＋「ながら時間」も勉強

ナオさん（宮城県：私立高校2年生）

スマホ
ネイティブ世代
の勉強法！



- 勉強アプリは15個ほどダウンロード。
- バスでの通学時間などの「すきま時間」に加え、テレビを見ながら、ご飯を食べながらの「ながら時間」に利用。

■よく使う勉強アプリ

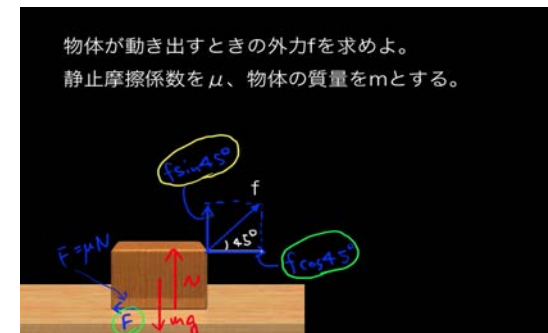
『英単語1800』（無料）

- 発音が音声で聞ける英単語アプリ
- 間違ったところだけ何度も確認テストできるのがよい



『ロバスト物理』（無料）

- 物理の公式や問題を、実験の動画や運動シミュレーションの解説付きで学べるアプリ



- 実際の動画で見ると動きがわかりやすく、公式を丸暗記するよりも理解が深まる

事例②

授業の補習・自習教材として、 オンライン予備校を導入する高校

岡山龍谷高等学校（岡山県）

【導入概要】

- ・新設された「R(龍谷)アカデミア室」にiPadを設置。
- ・オンライン予備校「受験サプリ」を、
授業の補習・自主教材として利用。

【導入の目的・狙い】

授業の補助教材として利用することで、
先生の発想や生徒のペースに合った授業展開が可能に。

「教師が英文を書く時間などは短縮。講義の重要な箇所は、
教師による二重解説を行ったり、大学の過去問を映し出して、
比較検討したりしています。教師自身が新しい発想で
活用法を考えており、生徒の発想力も伸ばすことができます」
（先生）

【導入後の変化】

「習慣化しやすく、生徒の学習サイクルの一部として自然と
組み込まれていると思います」（先生）



事例③

予習でオンライン講義を視聴、 授業ではグループ学習などを実践 (反転授業)

近畿大学附属高等学校（大阪府）



【導入概要】

- ・ 2013年4月より、iPadを新入生1,048人全員に導入。
- ・ 数学と英語の一部授業では、**予習として家で講義のビデオを視聴させ、授業中にはグループ学習などを行う「反転授業」**を実施。

【導入の目的・狙い】

- ・ 単なる知識伝達はネットで効率化。**授業時間はグループ学習を通じて、自主的に学ぶ力を育む。**
「生徒には単なる学力ではなく、自主的に学ぶ力やコミュニケーション能力など、社会で必要な力をつけてほしい。基礎的な知識は自宅で学び、授業ではグループで議論や発表をして、理解を深めています」（先生）

【導入後の変化】

- 「生徒からも**自主的に質問が出るようになる**など、意識が変わったように感じます」（先生）
- 「皆で教えあうので、普通の授業だと質問しにくい所が聞けて、**苦手意識がなくなった**」（生徒）
- 「他のグループに聞きに行ったりして疑問を解決しています。**一方的に教えてもらうより記憶に残っています**」（生徒）

キーワード

いつでも、どこでも、何度でも。
スマホで、スマートに勉強！

スマ勉



- ・ **スマートフォンを使って、勉強をする高校生が増加**している。
- ・ **海外では**、大学教育のオープン化や単位認定、高校生の受験勉強への**活用が進んでいる**。
日本では、これまで社会人の活用が進んできたが、今後は高校生にも波及。
- ・ 高校生が受験勉強で活用するようになった背景としては、
①デバイスの普及 ②デバイスへの親和性 に加え、
③受験勉強に対する4つの「不」（①距離、②時間、③価格、④品質）
- ・ スマ勉のメリットとしては、いつでもどこでも（即時性）、
何度でも（反復性）低料金で高品質な授業を、利用できること。
ここ1～2年でサービスも増加し、高校単位で授業として導入する例も出てきている。